会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  （２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回実態調査WG |
| 開催日時 | 令和2年10月14日（水）　10時00分～12時00分 |
| 場所 | 専門学校岡山情報ビジネス学院 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾  委　　　員：成底　敏、岡村　慎一、五十部　昌克、氏部　正、松田　義弘、  　　　　　　小田　政江、山根　大助、猪俣　昇(オンライン参加)  計 9名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計 1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計10名 |
| 議題等 | 1. 第1次アンケート調査集計結果の共有   ・1度きりの申請書類は学校運営責任者、更新書類は事務担当が多い。  ・学科長・教員はデータを持っているので、作成者に入ってくる。  ・どの役職が何をしているのか能力をどう育成するのかが見えてくる。  ・作成している役職ごとに何を作成しているのか、どのようなスキ  ルを持っているのか、今年度のアンケートで探っていく。  →役職ごとにどの書類を作成しているのかマトリックスを作成する。  ・資料ごとの特性をまとめ、それぞれの必要知識をまとめる。  ・情報公開を念頭に置き、魅力的な開示方法を示せると良い。  2. 第2次アンケート調査設計方針の検討  ・第2次アンケートは、11月中下旬以降にヒアリングを行い、その結果をもとに12月中旬頃実施。  ・学則を起点として教育の内容にかかわる書類対象。数字を入れるだけの  ような書類は省く。  ・メインターゲットは、設問1、2、3、4、8、11、12、23、事務担当者を中  心とする。  ・学校規模を考慮し、資料ごとにどのようなスキルが必要かを明確にする。  ・育成ターゲットは、PDCAを回すための全学的な職業教育マネジメントが  できる能力の向上。  3. ヒアリングについて  ・データ分析後ヒアリング内容（対象書類・作成プロセス）を作成。  ・対象は、150〜300規模で学校の魅力発信を上手く行っている学校。  ・法的、書類知識、書類項目の知識を持ち、知識と関係性を自分の中で整  理出来る人。書類作成者及び確認者が対象。  ・岡山、京都、広島を確定。他候補として、山形、富山、松江、青森、長  野とする。  4. スケジュール  　・第3回実態調査WG…11月4日（水）16時～　＠京都  　　議題：ヒアリング内容の確認・決定。 |
| 配布資料 | ・20201014 各種申請・届出書類の作成・提出に関するアンケート調査結果  ・専修学校における届出申請等項目一覧 |

以上